

## 2 なぜピーナッツとも呼ばれるの

- ① 木の実(ナッツ)のような堅い莢殻や豆を付けるため
- ② アメリカで熱心にピーナッツの普及につとめたジョン・ピーナと言う人に由来し、最初はピーナズナッツと呼ばれていた
- ③ 由来は定かでない

語源は英語のpeanutsで、pea(狭義にはエンドウ豆、広義には豆)+nuts(木の実)にあるとされています。植物分類学上の位置付けは、マメ科ラッカセイ属で、堅い莢実を着ける珍しいマメの一種です。

ピーナッツは他に、日本では唐人豆、地豆等、地方色豊かな呼び名があります。外国では、アースナッツ等々、地下結実から由来する名前が多いようです。

学術的には、英語圏を中心にグラウンドナッツ(groundnut)という表現が一般的に使われてきました。ただ、アメリカではピーナッツとの表記が多く、関連学会もそうになっています。アメリカ人はここでも独自性を発揮していますね。研究者も学術報告を出すときは、アメリカの学会誌向けにはピーナッツ、それ以外ではグラウンドナッツと気を使う人が多いとの話です。

ちなみに日本では、学術用語の表記は、園芸学会ではらっかせい、作物学会ではラッカセイが基本であり、国の作物統計上では落花生となっています。それぞれ名前のルールが異なっているためですが、まぎらわしいので統一してもらえるとよいですね。

正解 ①